



古河市名誉市民

永井路子氏  
和島誠一賞を受賞

古河ゆかりの直木賞作家で、古河市名誉市民でもある永井路子氏が、2006年度第7回和島誠一賞を受賞、表彰式が6月11日(日)に千葉市民会館にて行われ、表彰楯が贈られました。

■和島誠一賞とは

文化財保護の思想を広く提起し、また、神奈川県三殿台遺跡の保存をはじめとして、遺跡保存活動を積極的に実践、歴史的環境を保存する文化財保存運動の先駆けとして大きな足跡を残した考古学者・故和島誠一氏を記念して、平成12年に設立されました。21世紀に文化財保護、活用および普及をさらに飛躍的に発展させる期待を込めて、文化財保存全国協議会によって、毎年、遺跡保存や文化財保護に顕著な功績を挙げている個人と団体が表彰されています。



▲第7回和島誠一賞表彰式 2006年6月11日 千葉市民会館で

永井氏は幼少から青年期を古河で過ごしました。古河尋常高等小学校(現古河第一小学校)、古河高等女学校(現古河第二高等学校)、東京女子大学を卒業、小学館の編集者を経て、歴史小説家の道を歩みだします。

昭和39年、鎌倉時代を新しい視点から見つめ直した『炎環』で第52回直木賞を受賞。その後



直木賞記念腕時計

も、鑑真と奈良朝の権力闘争を描き、日本仏教の本質に迫った『水輪』、最澄と桓武天皇を主人公にとらえ、仏教と政治と魂の問題を描いた『雲と風と』、新たな歴史解釈で偏った平安朝観へ挑んだ『この世をば』『王朝序曲』『望みしは何ぞ』の王朝三部作などの代表作をはじめ、大河ドラマ「草燃える」の原作となった『北条政子』や『つわものの賦』、同じく「毛利元就」の原作となった『山霧』『元就、そして女たち』、あるいは大ベストセラー『歴史をさわがせた女たち』など、多くのすぐれた歴史小説を発表しています。この間、『水輪』で第21回女流文学賞、『雲と風と』で第22回吉川英治

文学賞、『この世をば』等の諸作品で第32回菊池寛賞をそれぞれ受賞、歴史小説の第一人者としての確固たる地位を固めました。

永井文学に共通しているのは、史実に忠実に基づきつつも既存の通説にとらわれず、新たな歴史解釈を試みたこと、歴史小説において従来あまり取り上げられてこなかった題材に挑んでいること、そして歴史における女性の立場・地位を再評価したことなどが挙げられます。これらのことは、単に文壇のみならず、歴史学界においても非常に高い評価を受けてきました。

ところで、永井氏の作品執筆は、まず文献資料を丹念に読み込むと

同時に、舞台となる風景を肌で感じるため、取材旅行で各地を訪れることから始まるといわれます。氏いわく「遺跡や遺物は、ときに文献資料より雄弁に歴史のドラマを語ってくれる。文化財抜きで歴史の全体像をとらえることは不可能です」と。

『氷輪』に関係している唐招提寺講堂跡の解体修理現場を訪れたこと、また、『雲と風と』における長岡京跡東院遺構の保存運動に全面的に協力したことはもとより、栃木県小山市鷺城跡保存や鎌倉御成小学校遺跡の鎌倉郡衛の保存、東京都国分寺市の名水真姿の池・武蔵国分寺遺跡の保存など、作品執筆に関係あるとなしとにかかわらず、講演や署名活動に積極的に携わってきました。それは、戦中派世代として「歴史とは何か」を常に問い続けてきた歴史小説家・永井路子の本質的な部分かなせる業であったのかもしれませんが。

永井氏のこれらの長年にわたる活動が、文化財保存全国協議会をして「歴史に作品の素材を求める作家はけっして少なくないが、遺



昭和48年 京都・八角円堂跡発掘現場で建築史学者・杉山信三の説明を受ける

跡がもつ歴史的意義を理解し、みずからの仕事に差し支えることを顧みずに、古代・中世遺跡の重要性を市民にわかりやすく語り、遺跡保存、文化財保存運動に献身的に貢献された」と絶賛せしめ、今回の受賞の運びとなりました。

また、出版、放送を通じて古河を紹介するなど、古河市の名声を全国的に高められました。さらに、歴史博物館や文学館、永井路子旧宅の開館にあたっては多額の寄付、一万点以上にのぼる肉筆原稿や執筆資料、蔵書等を寄贈、市内の中学・高校の校歌策定における助言協力、文化講演会の講師など、古河市の教育・文化面に多大な貢

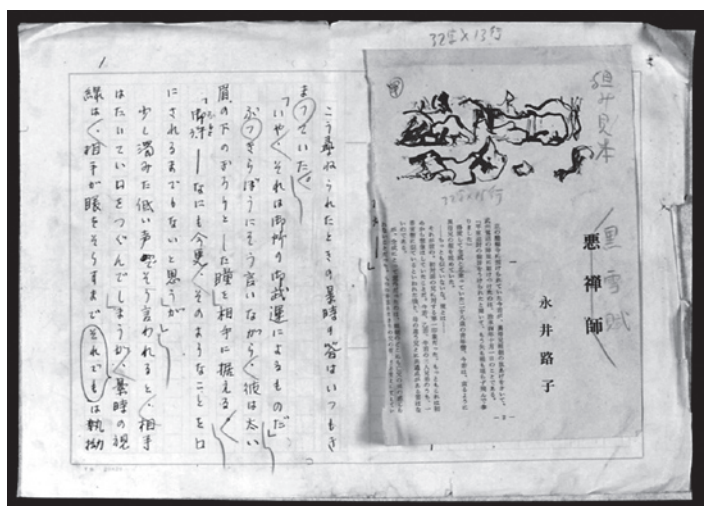
献をされてきました。これらの功績から、平成15年には古河市名誉市民の称号が贈られています。

なお、永井路子氏寄贈の数々の資料は、文学館において常設展示や企画展で随時ご覧いただけます。

【問】古河文学館 ☎21-1129



▲古河文学館 永井路子氏をはじめ、古河ゆかりの文学者・文学作品を展示

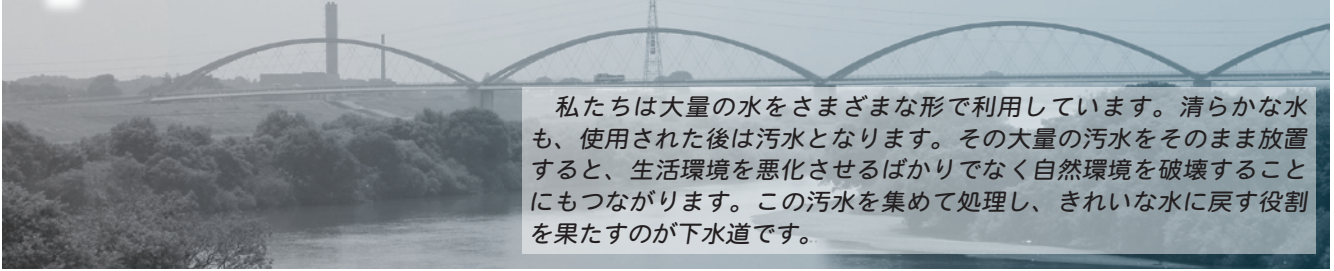


▲肉筆原稿「黒雪賦」

▼永井路子旧宅 永井路子氏が暮らしていた旧居を一部復元



# 下水道で快適な街に



私たちは大量の水をさまざまな形で利用しています。清らかな水も、使用された後は汚水となります。その大量の汚水をそのまま放置すると、生活環境を悪化させるばかりでなく自然環境を破壊することにもつながります。この汚水を集めて処理し、きれいな水に戻す役割を果たすのが下水道です。

## 下水道のはたらき

下水道は、きれいな街やきれいな川をつくるために重要な働きをしています。

### ○水洗トイレが使えます

汲み取り式トイレや浄化槽が不要になるため、いやな臭いが無くなり維持管理も簡単になります。

### ○衛生的できれいな街になります

生活污水による悪臭や蚊・ハエの発生が無くなり、街が快適になります。

### ○川がきれいになります

汚水は浄化処理をしてから川に流れ込むこととなりますので、川の水質が良くなります。

## 水洗化工事

下水道が整備され、利用できるようになった家庭は、市の指定工事店に依頼し、すみやかに排水設備の工事を実施してください。汲み取り式トイレを使用している家庭は、下水道が使えるようになってから3年以内に水洗トイレに改造をお願いします。

なお、改造工事を行う人に補助金を交付します(右記参照)。

## 下水道課からのお願い

### ○雨水を流さないで!

古河市の下水道は分流式下水道

と言い、汚水のみを流す下水道です。雨水が流れ込むと、汚水の流れを妨げ汚水の逆流等が発生する恐れがあります。

### ○ごみは流さないで!

生ごみや天ぷら油等を台所の排水口から流すと、排水管を詰まらせたり、悪臭を発生させたりするばかりでなく、処理場の機能を低下させます。油は固まらせるか、紙やボロ布などに染み込ませてからごみとして出しましょう。

## 浸水解消を目指して

市では、国から補助金を得て、古河駅東周辺の浸水被害が著しい区域(110.8ha)の整備を計画しています。

今年度は、北町の浸水被害改善に向け、北町第一雨水調整池を建設する予定です。これは、5,100トンの雨水を貯留するもので、完成後は集中豪雨時にあふれた雨水を調整池に貯留するとともに、下流域水路の負荷を補う役割を担います。これにより、この区域の浸水被害は大きく解消されると期待しています。



▲今後も下水道の普及と水洗化の整備を推進していきます

下水道は  
快適な環境を  
つくります



水洗トイレで衛生的に



側溝やドブの臭いもなくなります



川や湖、海もきれいに

旧3市町と新古河市の下水道普及率と水洗化率(17年度末)

	古河市	旧古河市	旧総和町	旧三和町
行政区人口(人)	146,547	58,740	48,752	39,055
処理区域人口(人)	74,304	44,326	24,291	5,687
処理区域戸数(戸)	27,877	16,982	9,020	1,875
水洗化人口(人)	52,529	30,332	20,158	2,039
水洗化戸数(戸)	19,068	11,081	7,367	620
水洗化率(%)	70.7	68.4	83.0	35.9
普及率(%)	50.7	75.5	49.8	14.6

※外国人は含まれていません。

## 排水設備の補助金制度

### 対象者

- (1) 処理区域内の建築物の所有者、または改造工事について当該建築物および土地の所有者の同意を得た人
- (2) 市税等、公共下水道受益者負担金、農業集落排水事業受益者分担金および上水道料金を滞納していない人
- (3) 下水の処理を開始した日から3年以内に改造工事を行う人

### 対象工事

公共下水道および農業集落排水事業の処理区域内で、汲み取り式

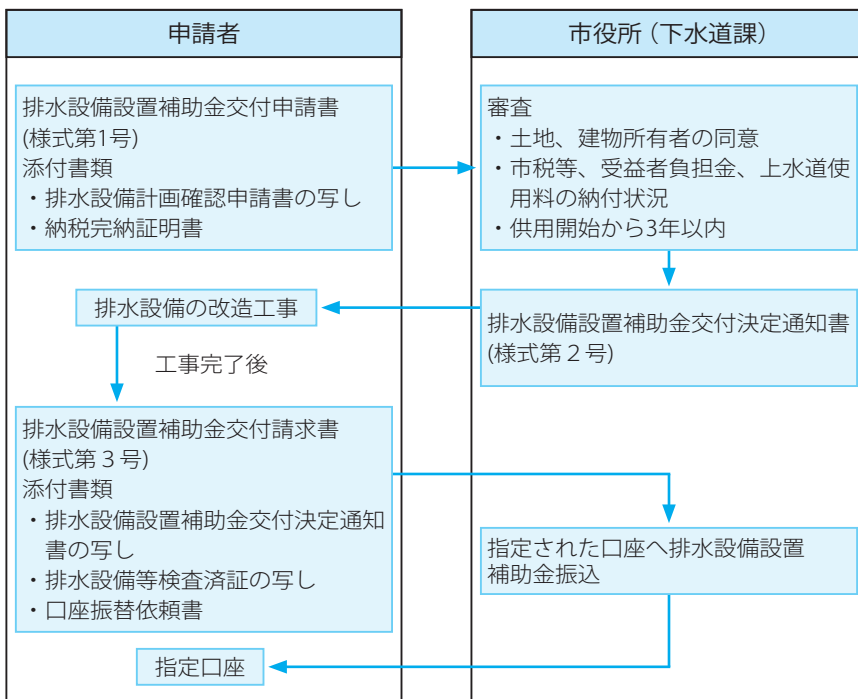
トイレ(し尿浄化槽による水洗トイレを含む)を水洗トイレに改造する工事およびこれに伴う排水<sup>ます</sup>管や排水<sup>ます</sup>桝工事等の改造工事

### 補助する額

補助金の額は次のとおり(ただし、補助金の上限額は10万円)

- (1) 改造工事をしようとする人が住居(併用住宅を含む)とする建築物は、一律3万円
- (2) 店舗、事務所、工場等の建築物は、1件1万円
- (3) 集合住宅、戸建賃貸住宅は、1件1万円(1工事1申請)

### 排水設備補助金制度の流れ



## 下水道促進週間 コンクール作品募集

9月10日「下水道の日」および茨城県下水道促進週間にちなみ、一般の人を対象にコンクール作品を募集します

**テーマ** 日常生活の中で下水道に関するいろいろな事について自由に発想・表現した作品

### 募集部門・内容

#### ○標語部門

応募規定: 作品は未発表のもの。官製はがきまたははがき大の用紙1枚に作品1点(1人1作品)

応募方法: 住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記

#### ○写真部門

応募規定: 作品は未発表のもの。4つ切りカラープリント。デジタルカメラは銀塩プリントのみ可(1人10点まで)

応募方法: 画題、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記

課題: 「茨城県の3大湖沼や河川」

**応募締切** 9月20日(水)

**応募先** 本庁・古河支所・三和支所の下水道課

**その他** (1) 応募作品は返却しません。

(2) 入賞作品の使用権および著作権は、茨城県に帰属します。

**【問】** 本庁下水道課 ☎92-3111

古河支所下水道課 ☎22-5111

三和支所下水道課 ☎76-1511

# 「ISO」を合言葉に

## ふるさと古河の良い環境づくりを



▲市役所では冷房を28℃に設定し、クールビズを実践しています

現代の環境問題は、複雑かつ多様化、国際化し、ますます重要な社会問題になっています。少しでも良い環境を子や孫の代に引き継いでいくため、私たち一人ひとりに環境にやさしい行動が求められています。

私たち古河市に住む人々が、連携して環境にやさしい生活や事業活動、学校生活を行っていく上で、今、環境ISO14001がキーワードになっています。

### ISO14001とは？

企業や市役所などの公共団体は、その事業活動を行うに当たり常に環境に配慮していかなくてはなりません。市役所は、公の立場から環境を守っていかねばなりませんし、企業は利益だけを追求すればよい時代は過ぎ去り、事業者として環境保全に努めることはもちろん、私たち消費者や契約の相手方からも環境に配慮することを求められています。

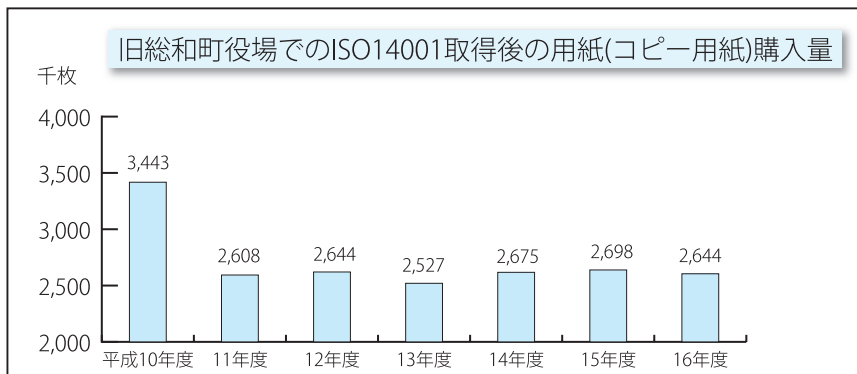
しかし、具体的にある企業や市役所がきちんと環境に配慮しているかどうか私たちが知りたい場合、何を基準としたらよいか分からないものです。このISO14001というのは、ISOという国際機関が「〇〇事業所や〇〇市役所が事業を行う上で環境に与える影響をできるだけ低くするための改善を継続的に行っている」ということに国際的な

「お墨付き」を与えるものです。このISO14001を取得すること＝環境に配慮している組織、事業者として国際的に認められることとなります。

### 市役所では

合併前の旧古河市および旧総和町では、茨城県下の市町村でも率先してこのISO14001を取得し、環境保全の取り組みを先

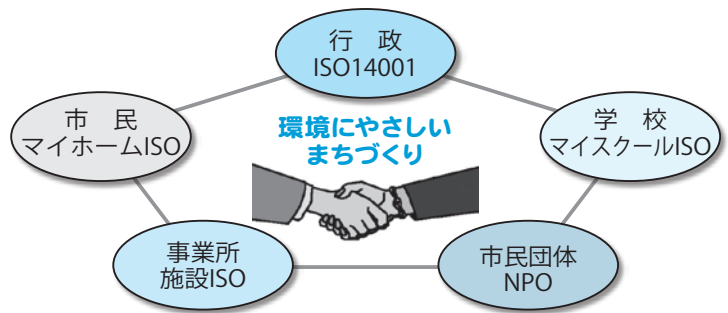
導的に実施してきました。その結果、電気やガソリン、紙の使用量を削減でき、職員の意識向上にも役立ちました。このたびの合併後も、新古河市として引き続きこのISO14001認証取得を継続して受けられるよう、ISOが求める厳しい基準を満たすため取り組みを進めているところです。その一例として、庁舎内は夏の設定温度を28℃とし、職員は環境省が奨励するクールビズを実践しています。



## 学校では

学校でも教職員だけではなく、児童生徒も環境にやさしい取り組みを実践しています。電気量や水道使用量など、数量で把握できるものは数値で目標を設定し、それが適切に行われているかどうか定期的にチェックもしています。

新古河市となり、マイスクールISOというシステムを市内学校へ浸透させ、環境に配慮した学校づくりをさらに推進していきます。



なっています。また、茨城県内の企業も389社が取得しています。これからも市内の多くの企業がISOを取得し、さらなる環境にやさしい事業活動が行われていくことでしょう。

※データは平成18年4月現在。(財)日本規格協会の資料による。

## 市民の取り組み

環境にやさしい生活は時には面倒であったり、不便をきたすことがあるものです。しかしながら、不要な電源を切るようにしたり、風呂の残り湯を洗濯に活用したりするなど、日ごろから環境にやさしい生活を心掛けている人はたくさんいます。この地道な市民の草の根の取り組みが大きな成果につ

ながります。

市では、市民が「楽しく」「効果的に」環境にやさしい生活に取り組めるよう、マイホームISO実践を呼びかけています。このマイホームISOは、家庭で簡単に取り組める環境にやさしい99の行動から各家庭が行動を選び、実践し、改善しながら取り組みを継続するシステムです。また、家族全員で役割を決めて取り組めることが特徴で、子どもたちの環境教育にも役立ちます。

※詳しくは本庁環境課までお問い合わせください。

## みんなで連携を

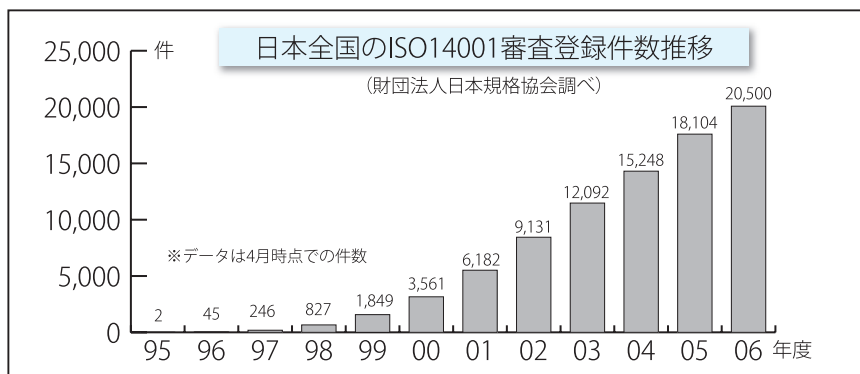
このように、さまざまな主体がISOを合言葉に環境にやさしい事業活動や市民生活に取り組んでいます。これらの行動を、ごみの量の削減や地球温暖化防止に効果的につなげていくためには、それぞれの連携が必要となります。私たちの子や孫に素晴らしい環境が残せるよう、市ではさまざまな主体の連携がより深まるような取り組みを進めていきます。

【問】本庁環境課 ☎92-3111

## 企業では

市内の多くの企業がISO14001や9000シリーズ(製品やサービスの品質管理)を取得しています。契約の相手方にISOの認証取得をしていることを条件にしたり、企業のイメージアップにつなげたり、環境保全にとどまらず企業ではISOが事業活動に欠かせない規格となっています。

日本では2万5000件<sup>\*</sup>のISO14001の登録があり、そのうち企業関連で約2万件を占めます。この件数は、世界NO.1と



# 平成18年 第2回古河市議会定例会

平成18年第2回古河市議会定例会が6月6日～16日の日程で開催されました。市長から提案された案件は諮問1件、議案22件、認定5件で、全議案原案可決されました。また、議員から提出された案件は議案6件で、内4件が原案可決、2件が継続審査となりました。



## 市長提出議案

- 市道の路線廃止について
- 市道の路線認定について
- 古河市総合計画審議会条例の一部改正について
- 古河市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
- 古河市長等の給与の特例に関する条例の一部改正について
- 古河市自転車駐車場の設置及び管理等に関する条例の一部改正について
- 古河市民農園の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 古河市三和ふるさとの森条例の一部改正について
- 清水丘親水公園条例の一部改正について
- 古河市古河体育館の設置及び管理に関する条例の一部改正について
- 古河市医療費助成に関する条例

- の一部改正について
- 古河市市営住宅条例の一部改正について
- 古河市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について
- 平成18年度古河市一般会計補正予算(第2号)
- 平成18年度古河市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第1号)
- 平成18年度古河市古河福祉の森診療所特別会計補正予算(第1号)
- 平成18年度古河市老人保健特別会計補正予算(第1号)
- 平成18年度古河市介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号)
- 平成18年度古河市介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算(第1号)
- 平成18年度古河市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成18年度古河市農業集落排

- 水事業特別会計補正予算(第1号)
- 平成18年度古河市水道事業会計補正予算(第1号)  
(以上原案可決)

## 議員提出議案

- 道路整備の推進と財源確保を求める意見書
- 米国産牛肉の輸入に抗議し、BSEの万全な対策を求める意見書
- 地方交付税制度の財源保障機能を堅持し、充実を求める意見書
- 「仕事と生活の調和推進基本法」(仮称)の制定を求める意見書  
(以上原案可決)
- 古河市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について
- 議員定数削減を求める意見書  
(以上継続審査)

## 由紀さおりさん、安田祥子さん 総和北中でコンサート

7月12日、総和北中学校で「由紀さおり・安田祥子『手づくり学校コンサート2006』」が開かれました。これは、新聞等での募集に総和北中が応募し、選ばれたものです。

このコンサート以前にも、総和北中と由紀さん・安田さんとは縁がありました。それは、今年<sup>3</sup>の3月に総和北中を卒業した長濱直志くんが作った曲「あそびたいな」を、由紀さんと安田さんが歌って

ミニディスクに録音しプレゼントしてくれたこと。重度の障害を持つ長濱くんにとって、最高の贈り物でした。

「良い歌は世代を超えます。音楽はみんなのもです」という由紀さん・安田さん。コンサートでは「あの素晴らしい愛をもう一度」「アメイジング・グレイス」などの名曲を披露。生徒と保護者の皆さんは、二人の優しく素晴らしい歌声に聴き入っていました。



▲有志の生徒による合唱団も一緒にステージへ。長濱くんの曲「あそびたいな」も歌いました



▲「詩の意味を聞いてから曲を聴くと、また違った印象を受けますよね」と、一つ一つの曲の意味や作曲者の思いを説明する由紀さん

## 「ねんりんピック」 に向けてスタート！

来年11月に茨城県内で開催される、「ねんりんピック茨城2007」へ向けて、6月23日、古河市実行委員会設立総会が開かれました。

「ねんりんピック」とは、人生の年輪(ねんりん)を重ね、豊かな知識と経験を積んだ高齢者を中心に、国民の健康の増進と社会参加を図り、触れ合いと活力のある長寿社会づくりを進めることを目的に、毎年開催されている一大祭典イベント。古河市では、広域中央運動公園温水プールで水泳交流大会が行われます。



▲実行委員会は競技団体、社会福祉団体、体育協会などで構成されています

## 社会を明るくする運動

社会を明るくする運動は、すべての国民が犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする運動で、毎年7月を強化月間として各地でさまざまな取り組みを行っています。

古河市でも、保護司会と更生保護女性会の皆さんがホームセンターなどで啓発活動を実施。市内各地でチラシなどを配りながら、犯罪や非行の防止を呼びかけました。



▲法務省が主唱する社会を明るくする運動は今年で56回目



▲うちわやチラシを配って啓発活動



## 第20回古河市ビーチボールバレー大会

7月2日、第20回古河市ビーチボールバレー大会が三和健康ふれあいスポーツセンターで開催されました。ビーチボールバレーは、子どもからお年寄りまで楽しめるように柔らかく安全なビーチボールを使って行うバレーボールに似たスポーツです。

大会にはB-1の部(46歳以上)16チーム、B-2の部(45歳以下)20チームが参加し、熱戦を繰り広げました。

結果は、マーガレットAがB-1の部で優勝、TC-LipsがB-2の部で優勝しました。



▲強烈なスパイクが炸裂!

## 昔の遊びで交流を深めました



▲折り紙のいろいろな折り方を教わりました

6月20日、中田公民館市民講座「さわやか大学」の受講生と古河第四小学校3年生児童の交流会が行われました。

昔の遊びやゲームなどを通じて、子どもたちと地域のお年寄りの心の交流を図ることを目的に開催されたもので、参加した102人の児童たちは、お年寄りからお手玉やあやとり、マレットゴルフなどを教わりながら、世代を超えた交流を楽しみました。

## ベートーヴェンの弦楽奏の音色楽しむ

7月9日、古河文学館で、「ベートーヴェン室内楽全曲演奏会」が開かれました。この演奏会は、平成13年から始まった企画で、ベートーヴェンの室内楽全曲を21回(年3回)に分けて演奏するというものです。16回目となったこの日は、戸澤哲夫さん(東京シティフィルコンサートマスター)などによるアルペリ弦楽四重奏団と、古河市出身のピアニスト小川由希子さんが、ベートーヴェン作品の「傑作の森」と称される1808年から1811年の弦楽四重奏曲などを演奏しました。



▲来場した皆さんは、素晴らしい弦楽奏の音色を心ゆくまで楽しんでいました

## みんなで清掃、まちをきれいに

5月から6月にかけて、各地区で市民総ぐるみ清掃が行われました。5月21日には総和地区、6月4日には三和地区、6月11日は古河地区で実施。早朝からたくさんの方が参加して、道路のごみ拾いや雑草取りなどをしました。

皆さんの力で、まちがきれいになりました。



▲側溝にもヘドロがたまっていました(総和地区)



▲協力してごみ拾い(三和地区)



▲きれいな景観が戻りました(古河地区)

## 明るく安心安全なまちづくりのために 新町行政区

相次ぐ子どもを狙った犯罪に対処するため、各地で自警団やボランティアパトロールが発足しています。

新町行政区でも、力を入れているのが地域防犯。今年の4月には「新町セーフティパトロールチーム」を発足しました。これは中央小学校の「地域子ども安全委員会」の発足に伴い、行政区でも地域ぐるみで防犯活動しようとしたもの。この目的は下校時の子どもの安全を守ること。さらに地域全体の安全を守ることです。

パトロールの方法は下校コースに合わせて2ブロックに分かれ、1日に3~4人が下校時間に町内を巡回します。協力者は現在87人。当番制でパトロールをしています。



▲帽子やたすき、腕章をつけてパトロール

「ボランティアで協力してもらおうとすると、都合が悪くなったときにみんなに迷惑がかかるとか、高齢だから役に立たないんじゃないかとマイナスに考える人もいますが、

プラス思考で参加してもらおうよう強調しています」と話すのは行政区長の森栄さん。「子どもとコミュニケーションがとれたり、パトロールが高齢者の生きがいになったりと、防犯以外にもさまざまな良い面があります」

のことが、継続の秘訣にもなります。「大切なのは、地域の皆さん全員が防犯の意識を持ってもらうこと。そうすれば明るく安心安全なまちができるはずです」と森区長は話してくれました。

## My Hobby

### 咲き分けの美しさに魅せられて

花の形、色彩ともに美しく、変化に富む花サツキ。

そんなサツキに魅せられた鈴木三佐男さん(仁連)。このほど、猿島臯月愛裁会主催の「花季展」に出展した作品が、2年連続して農林水産大臣賞を受賞しました。

サツキの魅力をお聞きしたところ、「サツキは、自分の好みに応じて楽しめます。そして、1本からいろいろな色あいの花が出るんですよ。その咲き分けの美しさですかね」とのことです。

また、「一年中<sup>せんでい</sup>剪定や植え替えをするなど、四季に応じた手入れがあつて、楽しみもありますけどなかなか大変です。家族にも広

### 鈴木三佐男さん

援してもらっているので助かりますけどね。仕事をしていてもサツキのことが気になって、胸が締め付けられるように苦しくなるときもあるんですよ」とも。



▲農林水産大臣賞を受賞したサツキ

「サツキを咲かせる喜びは、人生の励みになります」という鈴木さん。「サツキは品種が豊富なうえ、新しいものがどんどんできています。でも、私は、咲かせにくくて、ほかの人が敬遠している古くて珍しい品種を咲かせてみたいんですよ。これからも、いろ

いろな展示会に出品していきます。手塩にかけて育てたサツキを、ぜひたくさんの人に見てもらいたいですね」と今後の抱負を話してくれました。

## パークライフ 《チョークで道に落書き楽しいよ！(古河総合公園)》

おじいちゃん、おばあちゃん、お父さん、お母さん、子どものころチョークで道に落書きして遊んだ思い出ありませんか？ 楽しかったですよねえ～。

今は、自動車が多くて危ないし、そもそも、“道路に落書きなんてとんでもありませんわ！”といった心持ちではないでしょうか。

次々と失われていく子どもたちの遊び場。でも、子どもは、遊ぶことを通じて多くのことを学んでいくもの。そもそも、老若男女を問わず、遊びは、人生そのものであると表現する方々もいます。

そんな、豊かな社会づくり・人生づくり、もう一度、考え直してみたい。

町の中の塀や道路、公共施設では許されません

が、古河総合公園なら歓迎です。ぜひ、落書きしに来てみませんか！

でも、みんなが勝手にやると、めちゃくちゃになってしまうので、次のルールを守りながら、楽しむこととしましょう。

“場所：クジャク小屋の前から、遊具広場下までのアスファルト園路”

“筆記具：チョーク”

付き添いの方も、恥ずかしがらずに、子どもと語りいながら、一緒にやってみませんか。

画用紙では収まらない、公園ならではの伸びやかな野外遊びをどうぞ、お楽しみください。



▲夏は、落書きの後、せせらぎで水遊びがオススメ

【問】古河総合公園管理棟パークマスター

☎47-1129

## ブックレビュー =Book Review=

BIB国際絵本原画展日本代表

金田卓也著『アブドルのぼうけん』

険しい山々と砂漠に覆われ、国土の大半が荒地地とっていいアフガニスタン。厳しい気候風土に加え、長い戦乱による荒廃からの復興もままならず、アジアの中でも最も貧しい国の一つとされています。

しかしながら、そこに暮らす子どもたちは、きらきらと輝く目と優しく豊かな心を持ち、たくましく生きているそうです。今月は、そんなアフガニスタンの子どもたちを描いた絵本『アブドルのぼうけん』をご紹介します。

著者は古河市在住の児童文学者・金田卓也氏。東京芸術大学大学院美術研究科博士課程修了



後、オレゴン大学客員助教授を経て、現在、大妻女子大学で教鞭をとられています。

その一方、アフガニスタンをはじめとするアジア各地を訪れ、そこで出会った子どもたちを描いた数々の絵本を創作、昭和57年には、母・金田常代との共作『ロミラのゆめ』で第6回絵本にっぽん賞を受賞しています。また同年に刊行した、『アブドルのぼうけん』の原画はBIB国際絵本原画展に日本代表として出品されました。

『アブドルのぼうけん』は、金田氏が何度も訪れたアフガニスタンの少年たちのエピソードをもとに創られています。この作品に限らず

氏の諸作品は、単なるエキゾチシズムに陥らないよう、家の内部から服装のデザインにいたるまで、細部にこだわって描かれています。そこには、興味本位ではなく、アジアの子どもたちに対する真の理解と共感を得てほしい、という氏の思いの丈が見てとれます。

物質的な豊かさとともに失いつつある、精神的な豊かさを思い出させてくれる、そんなすてきな絵本です。ぜひ、親子で読んでみてください。

ちなみに、文学館では現在、「金田卓也絵本原画展～アジアの子供たち～」を開催中です。また8月26日には金田氏本人による読みきかせの会もあります（詳細はお知らせページをご覧ください）。こちらもぜひ、お楽しみください。

(古河文学館 秋澤正之)

# 古河風土記 南北の道

逢はずして行かば惜しけむ<sup>まくら</sup>良<sup>が</sup>我<sup>の</sup>  
許<sup>こ</sup>我<sup>が</sup>漕<sup>ま</sup>ぐ船<sup>まづ</sup>に君も逢はぬかも

万葉集巻14の相聞歌(恋の歌)に収録される一首です。この歌に出てくる「許我」が当地で、その内容から「渡し」があったことが想定されています。万葉集は少なくとも奈良時代の末期には成立していたと考えられていますから、この頃にはすでに当地を通る主要な陸路があったことがうかがえます。

鎌倉時代になると、「いざ鎌倉」、すなわち鎌倉で大事が起こった時にすぐに駆けつけられるように、各地から鎌倉に向かって道が整えられていきます。これがいわゆる鎌倉街道と呼ばれる道で、市域では、五霞町両新田から前林一砂井新田一下辺見一大堤一原一古河市街地を経て野木町に抜けるルート、また砂井新田から分かれて磯部一沼一下大野一関戸一小堤を経て小山市間々田に抜けるルートがあったようです。もちろん、この他にも道はあったのですが、文献史料などから類



▲日光街道道標

推される主要な道はこの2ルートだったと思われます。

江戸時代には、江戸幕府の創始者徳川家康が日光東照宮に祀られたことから、東照宮に社参するための道が整備されます。この道を日光街道と俗称していますが、栗橋町伊坂から利根川を渡河(房川渡し)して中田一茶屋新田一大堤一古河市街地を経て野木町に通ずる道がこれにあたります。また日光街道の脇街道(日光東街道)として、境町の境河岸から谷貝一東山田一仁連一諸川を経て結城市に抜けるルートもありました。

これらの道はいずれも市域を南北に縦断し、東北地方に通ずる主要な幹線道路として存在してきました。それも古代から近世にかけて継続して当市域を通過していますから、人の往来や物資の流通路として当地は重要な位置を占めていたことが分かります。そして

それは現代にも引き継がれ、首都東京と東北地方を結ぶ国道4号線の車列の賑わいが、往時の姿を忍べています。  
(生涯学習課文化財保護係)

## 図書館おすすめの図書

### ◇一般書

#### ・セント=ヘレナ覚書

ラス・カーズ 著

小宮 正弘 編訳

ラス・カーズの手になる「セント・ヘレナ覚書」の中から、ナポレオン帝国滅亡の主たる要因をなしたと思われる史実に関与したナポレオンの発話を編訳。セント・ヘレナ島でのナポレオンの生活とその人間が見える一冊。

出版社…潮出版社 分類…289ナ

#### ・団塊世代「次の」仕事

堺屋 太一 監修

定年後、新たな人生を切り拓いた100の実践、100のヒントを紹介。庭師に、船頭に、ラーメン屋に、ファイナンシャル・プランナーに、NPO理事長に、美術商に……。どうやったら自分の力量

を活かす再就職ができるのか?

出版社…講談社 分類…366ダ

#### ・バレエ漬け

草刈 民代 著

国内外のバレエ団で主演を務め、テレビやCM・雑誌などでも活躍するダンサー・草刈民代。本能の赴くままに踊ることだけを考え、決して妥協しない孤高のバレリーナが、そのバレエ一筋の人生を自らつづる。

出版社…幻冬舎 分類…769ク

### ◇児童書

#### ・世にも不幸な出来事10

##### つつるスロープ

レモスニー・スニケット 著

宇佐川 晶子 訳

いつまでたっても改心しない悪党オラフと、いつまでたっても幸



福になれないボードレール3姉弟妹。オラフに連れ去られたサニエを救出に向かった姉弟は、謎の組織V・F・Dの本部へ突入! のっけから大変な展開の第10巻。

出版社…草思社 分類…K933ヨ

#### ・さかさのこもりくん

あきやま ただし 作・絵

こもりくんはこうもりの子。いつもさかさま。話すことばだってさかさまです。あっちに行って～(こっちに来て～)、つまんなーい!(たっのしーい!)。ほんとの気持ち伝えられないこもりくん。お友だち、できるかなあ?

出版社…教育画劇 分類…E

(ユースセンター総和)

みんなが主役



# 男女共同 参画社会

## 古河市男女共同参画推進委員会発足!!



▲中央公民館で開催された男女共同参画推進委員会

急速な少子化の流れの中で、これからの社会は個性を生かしながら、家庭・職場・地域に男女が共に参画していくことが必要です。

男女共同参画の必要性は皆さんのすぐそばにあります。根付いてしまっている意識を変えていくことは難しいことですが、「男だから」「女だから」の枠を壊し、誰もが能力を十分に生かせる社会づくりがで

### 古河市男女共同参画推進委員 (敬称略)

No.	氏名	住所	No.	氏名	住所
1	荒俣圭以子	大手町	9	佐藤すみ子	女沼
2	伊藤幸四郎	下大野	10	関口 法子	関戸
3	遠藤 裕子	駒羽根	11	関根ひろ子	山田
4	萩野 利江	東山田	12	関根まり子	下大野
5	加藤 美央	仁連	13	館野あさ子	東牛谷
6	川島 正廣	鴻巣	14	永島 春美	東本町
7	黒木ヒサ子	南間中橋	15	星野 肇	小堤
8	櫻井江美子	柳橋	16	本間 正敏	駒羽根

きたら一人で抱え込んでしまっている“つらい”が無くなっていくかもしれません。

古河市においても男女共同参画社会の実現を目指し「古河市男女共同参画プラン」を策定します。プラン策定について討議していただくためのメンバーが、7月14日に市長から委嘱され、男女共同参画推進委員会が発足。会長には関根ひろ子さん、副会長には永島春美さんが選任されました。委嘱期間は2年間です。構成メンバーは、一般公募・学識経験者16人。他に、市役所職員で組織する連絡会議等も発足予定です。

また、プラン策定・推進にあたり顧問として、川上美智子氏(茨城キリスト教大学教授)をお願いをしました。

※「古河市男女共同参画プラン」の策定にあたり、市民の意識調査を実施しています。意識調査対象者に選ばれた人は、ご協力をお願いいたします。



▲16人の推進委員に市長から委嘱状が渡されました

【問】男女共同参画室 ☎92-3111

# 国保通信

## 《交通事故に遭ったら》

### ●交通事故に遭い国保で治療を受ける場合

国民健康保険では、交通事故に遭い国保被保険者が傷病を受けた場合、国保が医療費を一時的に立て替え、後で加害者に請求します。

交通事故など第三者から傷病を受けた場合の医療費は、被害者に過失のない限り加害者が全額負担をすることが原則となっています。したがって、国保により診療した場合でも、加害者の負担すべき医療費は国保が一時的に立て替えて支払うことになります。立て替えた分は、後から国保が被害者に代わって加害者へ請求することになります。

治療を受ける場合は必ず国保窓口で、所定の手続きをお願いします。

### ●届け出

①交通事故に遭ったら、すぐに最寄りの警察に届け出て、事故証明書を取ってください。

②国保の窓口にも届け出をしてください。

### ●届け出時に必要な書類

保険証、印鑑、事故証明書、第三者行為による傷病届、事故発生状況報告書、念書、承諾書等

### ●示談は慎重に

国保に届け出る前に、加害者から治療費を受け取ったり、示談を済ませたりすると、後で国保から加害者に費用の請求ができなくなる場合があります。示談の前に、必ず国保の窓口にご相談ください。

【問】本庁 保険年金課国保係 ☎92-3111、古河支所 保険年金課国保係 ☎22-5111、三和支所 保険年金課国保係 ☎76-1511

# 健康情報局

## 《絵本大好き！》

赤ちゃんは絵本を読んでもらうのが大好きです。ぬくもりを感じたり、読んでくれる声を聞いたりするのもうれしいものです。

### ○読み聞かせはいつごろから？

早すぎるということはありません。読み聞かせの一番の目的は親子のふれあいです。特に赤ちゃん時代の読み聞かせは、絵本の文字を読むのが1割、赤ちゃんの表情を読むのが9割です。

人の話に耳を傾ける体験を重ねることで、大きくなったとき人の話を聞き、理解しようとする姿勢が身に付きます。毎日の読み聞かせは、人と触れ合う喜びや想像する楽しさを知る心豊かな子どもに育てることにつながります。

### ○どんなふう読み聞かせすればいいの？

抱っこではなく、赤ちゃんの隣など表情が見える姿勢で絵本を広げましょう。

赤ちゃんが読んでいる人の顔ばかり見ているかまいません。何度も読んでいうちに、絵の方にも興味を示すようになります。



(健康推進課)

## 表紙写真



毎年8月14・15日の夜に、思い思いの絵を描いた手づくりのあんどんを古河歴史博物館の堀周辺に飾り、夕涼みを楽しむ「夢あんどんと夕涼み」。古河の夏の風物詩として市民の皆さんに親しまれています(撮影：竹村茂氏)。

## 寄付

伊藤秀子さん(横山町一丁目)が、古河歴史博物館展示品として、「水急不流月」刻字1枚大久保翠洞刻を寄付。

奈良長重さんが、第7回ラベンダーまつり用として、弁当200個を寄付。

## 人口と世帯

(7月1日現在 住民基本台帳から)

総人口 146,494人(-27)

男 73,484人

女 73,010人

世帯数 51,958世帯(+66)

( ) 内は前月比

かじきまぐろのパセリパン粉焼き



エネルギー= 180kcal  
たんぱく質= 19.6g  
塩 分= 0.8g

材料(4人分)

かじきまぐろ3切れ、塩小さじ1/3、白ワイン大さじ1、こしょう少々、小麦粉適量、卵適量、パン粉大さじ6、パセリみじん切り大さじ2、オリーブ油大さじ1と1/2、レモン1個

作り方

- ①かじきまぐろは1切れを4つにそぎ切りにする。塩・白ワイン・こしょうをまぶし、しばらくおく。
- ②パン粉・パセリ・オリーブ油を混ぜる。
- ③まぐろに小麦粉・溶き卵・②の順にまぶし付ける。
- ④フッ素樹脂加工のフライパンを油をひかずに熱し、まぐろを入れ、両面に焼き色が付き中に火が通るまで焼く。皿に盛り、くし型に切ったレモンを添える。

(食生活改善推進協議会)

アイドル登場

おしゃべりが上手です

渡辺果臈ちゃん (1歳9カ月・諸川)



果臈はいつもニコニコしている明るい女の子です。おしゃべりするのがとっても上手で、最近ではワガママぶりも発揮!! いつも元気なのは、おじいちゃんの作ったキュウリを丸かじりしているせいかな?

アンパンマンのハミガキマンが大好きな果臈。毎日ちゃんと歯磨きして、ムシバラスをやっつけようね。ママやパパたちを困らせることもたまにはあるけど、みんな果臈が大好きです。

これからは、たくさんご飯を食べて大きくなって、元気いっぱいの子に育ってね。

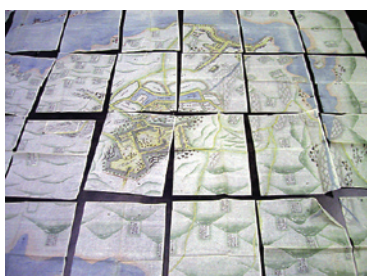
(父：健一さん、母：真弓さん)

博物館 ニュース

甦る文化財

博物館といえば、文化財が展示室のガラスケースに整然と陳列されているもので、和紙を好物とする紙魚なる虫の害や、紙・糊などの歴年劣化によって本来のかたちを保つことができない状態にある品々は、いかに資料的価値が高く希覯本であっても、はたまたま珍奇な文物であつても、保存状態の悪いままに展示されることはありません。博物館の専門スタッフたる学芸員は、公開と保存管理に目敏い、いわば文化財の番人なのです。

そこで、そうした状態の悪い文化財を表舞台に上げるため修理・修復の必要が生じるようになります。当館では、昨年、国の補助金を得て、収蔵資料の修理を行いました。なんとれば、当館所蔵の国指定重要文化財「鷹見泉石関係資料」は、その半数にも及ぶ大凡1500点が、冒頭のような理由により公開できぬ状態にあるのです。



▲修理前の絵図(名護屋城布陣之図)

でしようが、こと文化財ということになると、交換の材料でさえ安易に入手することがかなわぬもの。工房へ搬入された手負いの文化財たちは、はじめ、完膚なきまでその文化財の素材・性質の調査を受けることとなります。繕ったり、補ったりする紙や糸、布地などの選別を誤れば、二度と原品の持つ風合いを取り戻すことはできません。

材質の調査が終われば、修復の方針についての打ち合わせ。このたびの修理の中心となつた絵図では、料紙に付着する汚れの除去具合から、散れた料紙の繋ぎ方や、剥がれ落ちた付箋紙の処理の仕方、量物特有の折り目に集約される破損部位の補強方法にいたるまで、慎重に検討がすすめられました。

そして、補修に使用される材料の手配。ここでも調査成果に基づいて、同質のものを入手することに努めますが、それを手がける職人集団も、その技術を国に認められた精鋭ばかりというから驚かされます。1カ年の時間を費やし、素材それ自体が放つ数多くの情報を損なうことなく、必要最小限の施術によって、文化財に再び命を与えていく作業の詳細は、とうていこの誌面で紹介し尽くせるものではありません。

このたび修理かかった点数は10点。ともあれ修理を経て再び当館に戻ってきたこれらの文化財を、今月26日開幕のテーマ展「甦る鷹見泉石の絵地図―国指定重要文化財修理の足跡―」でさっそくお披露目することになりました。

ところで、私たちに身近な「修理」といえば、家電部品の交換といった具合

おあとは、展示にて……

古河歴史博物館学芸員 永用俊彦

平成18年8月1日発行 ●発行所／〒306-1029 茨城県古河市下大野2-4-8 古河市役所 300-2800 (92) 3-1-11  
●編集／秘書広報課 ●ホームページ／http://www.city.furukawa.ibaraki.lg.jp